

18
未満

ロリババ専門アンソロジー

下代
娘

巻の九

表紙: 小さいおひめさま救急車

ちびっ
ぱん
たー
の
じ

くまじろ

ようこそ龍の宮

シブハル

Dかけつ

春姫ロキ

樽磨侍

きつねつき

パルコ長嶋

悪魔的なカバジョ



本当に何か
召喚しちゃった…

嘘だろ…

オカルト
研究部

悪魔的な カノジョ

パルコ長嶋

なんか
ではない！

ワシは貞操の悪魔じゃ
お主の貞操と引き換えに
なんでも願いを叶えてやろう！

電子版短編集
『ロレンシア』は
分かせられたい
好評配信中!!

さあ早う
願いを言え！

かっかつ
彼女っ

彼女欲しッス

ヒイツ



彼女…だと？

それが本っ当に
悪魔を呼び出すなんてな…



部室で見つけた
古びたノート

そこに記してあった儀式を
ほんの軽い気持ちで
やってみたんだ



それは…
こやつの貞操を
全て支配することとの
矛盾が生じるな…

え…なんか俺
しくじったか？

これまでには無かった
初の願いじゃ…
さて…

…よし！



決めたぞ
ワシがお主の彼女に
なってやろう

それならば
矛盾はないじやろう

え…ッ

悪魔が彼女なんて
そんなの無理に決まって…









出すなよ〜

まだ出すなよ〜

ふしッ

ワシが良いと
言うまで耐えるのじゃ

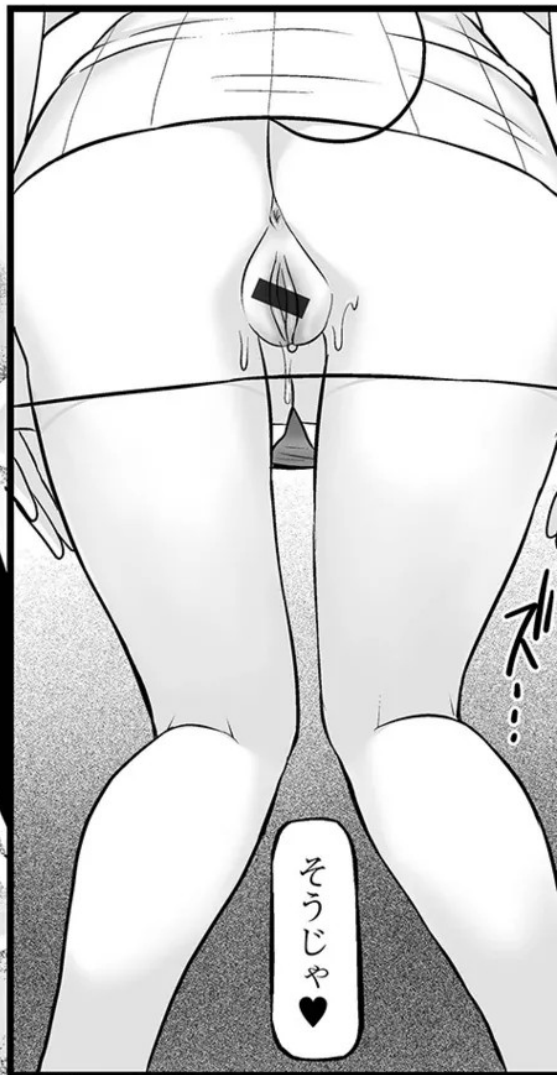
まだと
言うておるッ

…一休み
するぞ

はあ…













イケッ
お前もイケッ

イケッ

イケッ

イケッ

ああ



俺の彼女
なんだろ!?

なあッ

生ハム

ヒューッ

おっ

あーッ

あーッ

あーッ

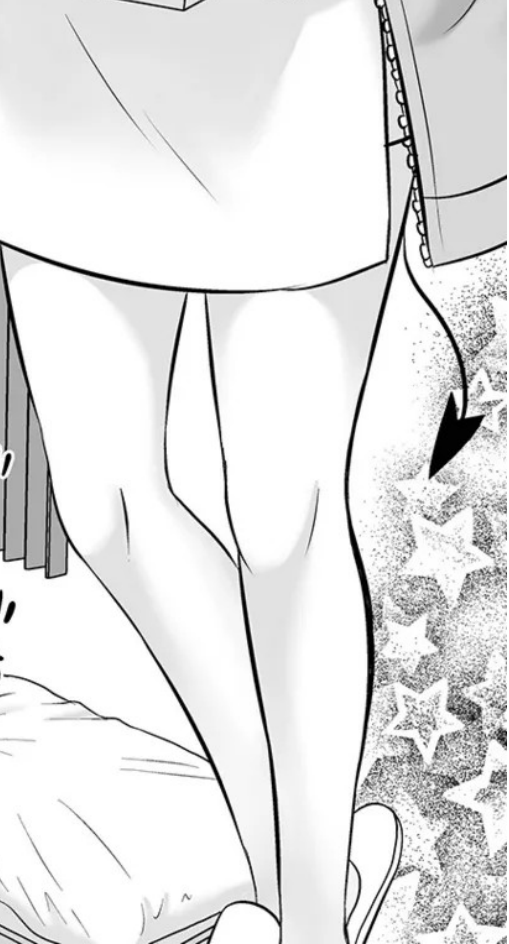
あーッ

おっ

おっ...っ







END

転勤の為
今日この部屋に
引っ越してきた

家賃の安さを
理由に選んだ物件だが

内見の折
大家から
こんな話を聞いた

この部屋には
化け狐が出ると

アパートに憑りつく4本尻尾の狐娘!!
厳しい責めで昇天です!!

ただの冗談だと
思ってたけど...

きつねつき

ダルマサムライ
樽磨侍

本当に出た...!?

この子が化け狐...?
想像と全然違う...

は...

とりあえず
起き上がらないと...

あれ?

ん？

キ
チ

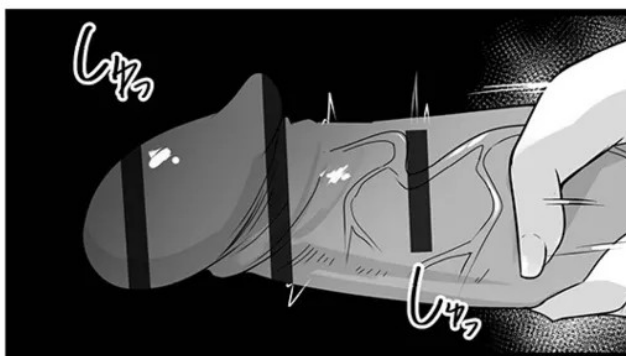
手足が動かない...
なぜ...?

身体が
動かぬか?





下履きを履いたままでは
できんだろ
まぐわいが



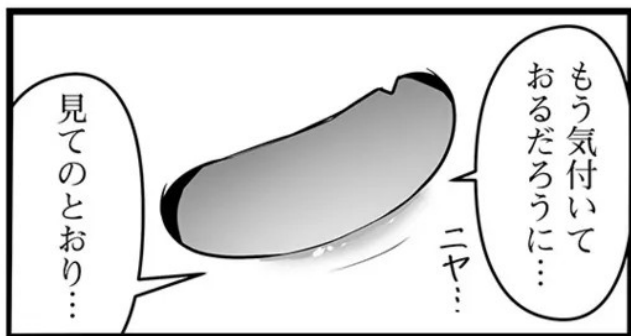
何のために
そんなこと...
やめてくれっ

勃起させておいて
今更何を申すか











もう気持ちよくなる
ことしか考えられない…!

そうだ…

快樂…?

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん
ぽん



きもちーか?

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ふふ良い調子だ

もう金縛りも
必要ないな

あとは共に
昂ろう♡

ああ…

きもちいい…





この後
俺は眠ってしまい

朝目を覚ますと

彼女の姿は
どこにもなかった

それからも

俺はこの部屋に
住んでいる

か
希

夜帰ってくる俺を
あの子が待っていて
くれるから

ただいま

そして今夜も…

END

龍の伝説

大昔…
湖に住みつく水龍が
悪事を働き
人々を困らせた…

しかし巫女が現れ
その力を
封じたという…



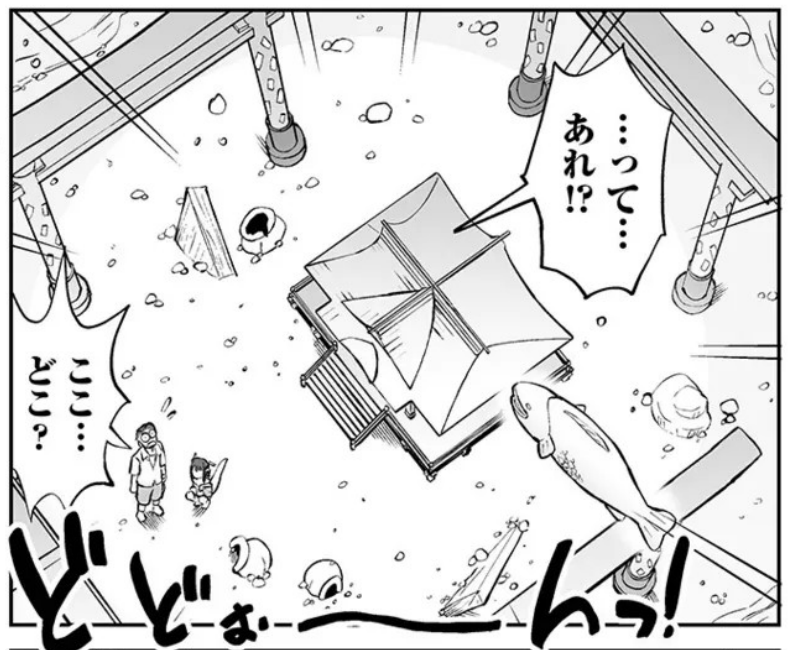
電子版短編集
つるぷに
ありますっ
好評配信中!!

龍の宮

ぐまじろ











…なんと
社ごと水中に
沈めたのじゃく!!

あ奴めの
ための祭が
未だに…!!

昔から酒好き
だったんですね
ここから
出られないん
ですか？

そ…それが
出来れば
苦勞ないのぢゃ

四方を囲む
鳥居

そこに
貼ってある
呪法が強力でのう…

それに今では
力を抜かれ
この姿…

なるほど
なるほど

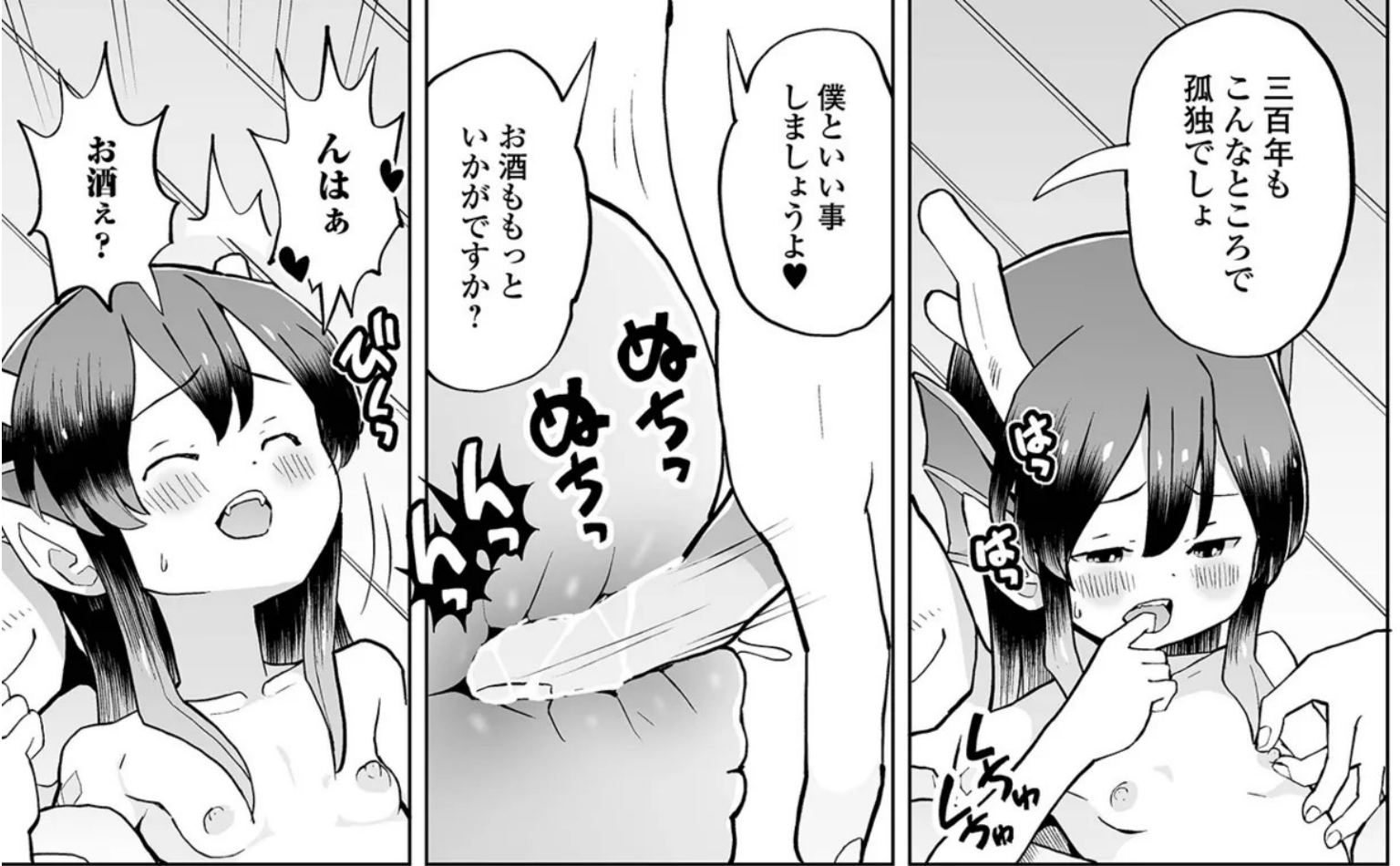
つまり
イズマ様は今や
非力なんですネ

くちゅ
くちゅ
くちゅ

あー

あー

くちゅ

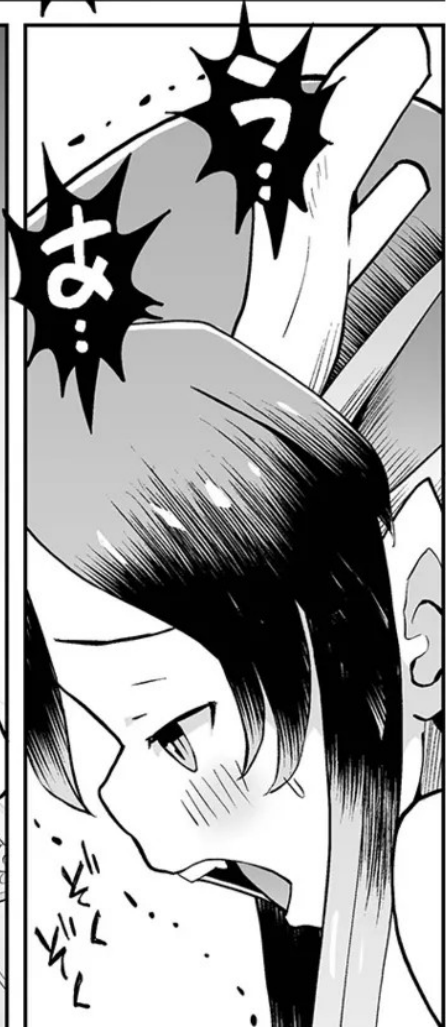




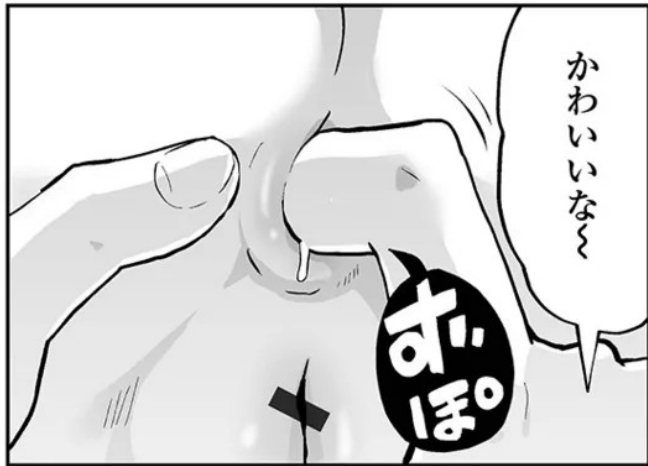


















いっぽ

いっぽ

ぐぐぐ

ぐ

おはあ

ヒック

わ...妾...
もう...

私も...一緒に
イキましよう!

おしやけ
うみやい

きもちいい...

ぐ

ぐ

ぬぐ

ぬぐ

ロビーメイドさんに
傅かれる幸せな日々

ルルは俺が生まれる
ずっと前から家に仕えていた――

初めまして
坊っちゃま

数百年前に俺の先祖が
契約した妖精メイドだ

ゆりひこから
墓場までDかけっ

御父上様に仕える
専属メイドのルルと
申します

以後 お見知りおきを

この現代にそんな
お伽話みたいな話を…

代々 当主に仕える
妖精の専属メイド…

ガキだった俺は
無邪気に信じて
いたが――

現在
当主の屋敷

問題は
そんなお伽話が…



はい♡当主さま♡

むわ…♡

はーふりあ♡

どうぞルルの口に
好きなだけ吐き出して
くださいませ♡

今も目の前に
存在し俺の性処理を
行っている事だ



当主である父が
亡くなった日であり――

俺が当主を引き継いだ日

初めて会った
その日から

何一つ変わらない
ルルが俺に告げた――

俺にとっては
早くに亡くした
母のようであり
姉であり

家族であり
初恋の女である
ルルは…

当主の専属メイドの
仕事として

こうして俺の性処理を
行うというものだった

複雑どころの話じゃない
俺の家族で初恋だった女に…

父や祖父 そのもつと前の
当主全員の性処理を
してきたと告げられ—

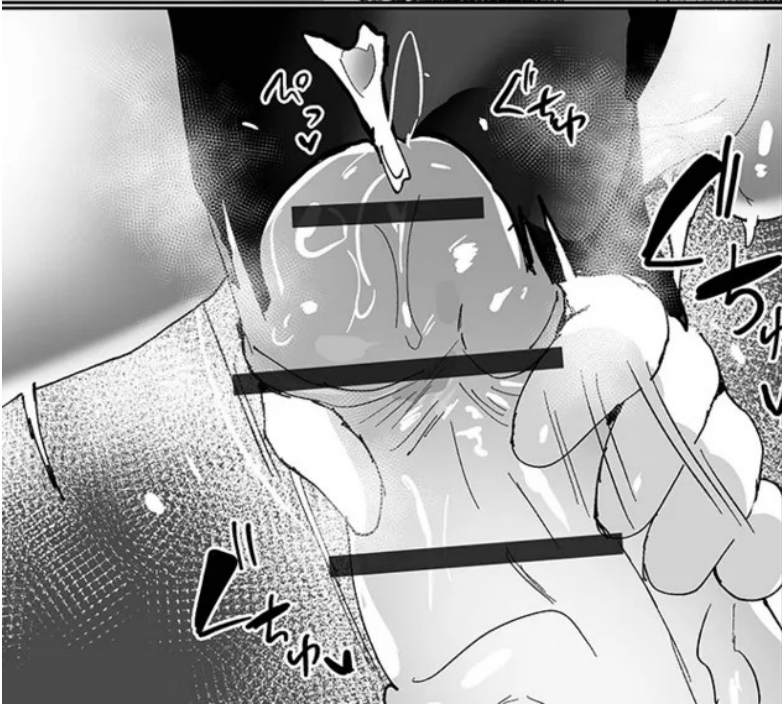
その上で俺のちんぽを
しゃぶってるんだ

こんな気持ちを
どうしろっていうんだよ…



当主さまのどのような
欲望にもお応えする
所有物…♡









20年後

あれから俺も
結婚し――

妻も子供も
できた

俺も良い歳になった

そんな中で

ルルだけは
変わらない

このお伽話は変わらず
続いていく

ゆりかごから
墓場まで――

ちゃぷ...♡

END

本当に青くて
美しい星だ

満月に 春姫ロキを 願を

皆の者
今まで世話に
なったな

極大眉が眩しい現代版かぐや姫?!

心から
願って
おります

お帰りを

お早い

姫様!

すまぬな…
この日をずっと
待ってあったのだ

鬱陶しい離せつ
決まり事なのだ

まったく
愛いやつらめ

千年に一度…

水鏡に映る地球が
月と繋がるという井戸

遠い昔
地球に行き知見を
広めた姫に習い

怖くない
怖くない
怖くない

時期女王候補が試験として
ここに身を投げてきた！

月の都「平月京」
地球での様々な知見が元に
成帝された月の裏側にある
夢の楽園

姫様！

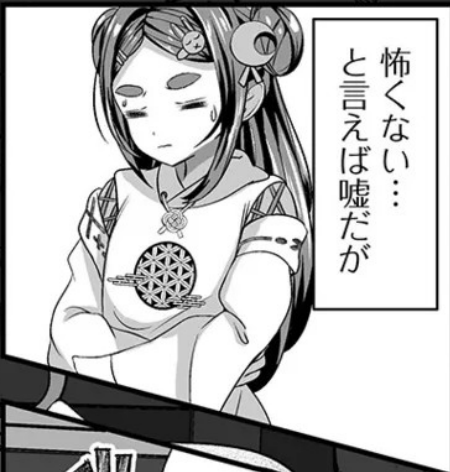
チエロッ！

姫様！？

姫様！

こんな箱入り娘を
谷どころか
井戸に落とす…

そんな馬鹿げた仕来りが
信じられている…



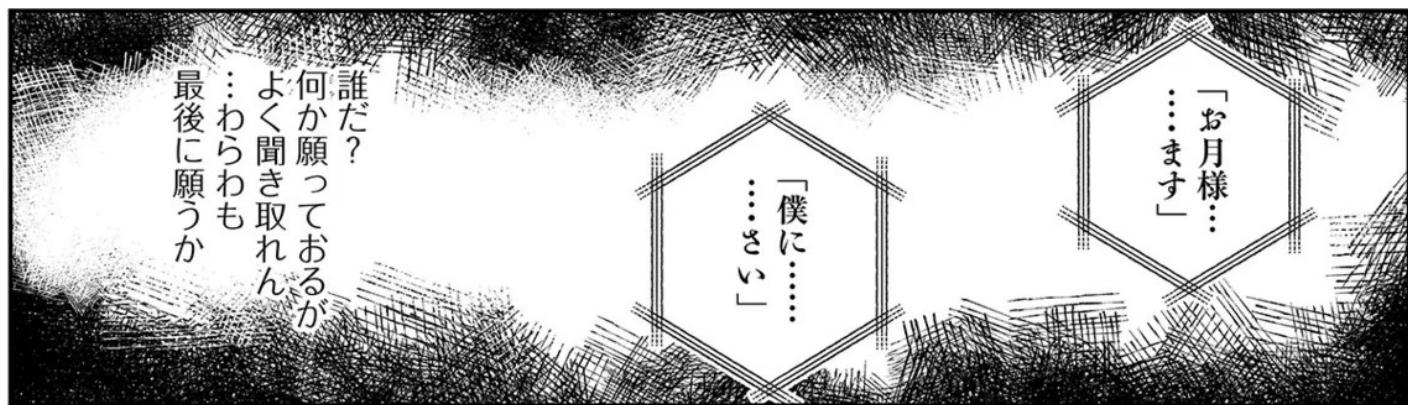


寒い…

息ができない…

伝説は所詮伝説…

わらわは
このまま死ぬのか



「お月様…
…ます」

「僕に…
…さこ」

誰だ？
何か願っておるが
よく聞き取れん
…わらわも
最後に願うか



生まれ変わったら
普通の女子^{おなご}として
自由に暮らしたい



来世では
好き放題
させて貰うぞ…





ゲホッ!
ゴホッ…

はあく死ぬかと
思ったぞ

黒髪女神
トゥンク…

マジで願う事
叶っちゃった!?

おっ丁度良い
ここは地球で
合っておるか?

はいいい?
日本の山奥にある
温泉ですけど…

とりあえず
温泉に浸かりながら
話ませんか？

ぽん

そうだな！
井戸水ですっかり
冷えておったのだ

うんしよっ

わらわは
あまみつきまじゆ
天満月真珠

訳あって月から
来た姫である

しばらく地球で
暮らす予定だ

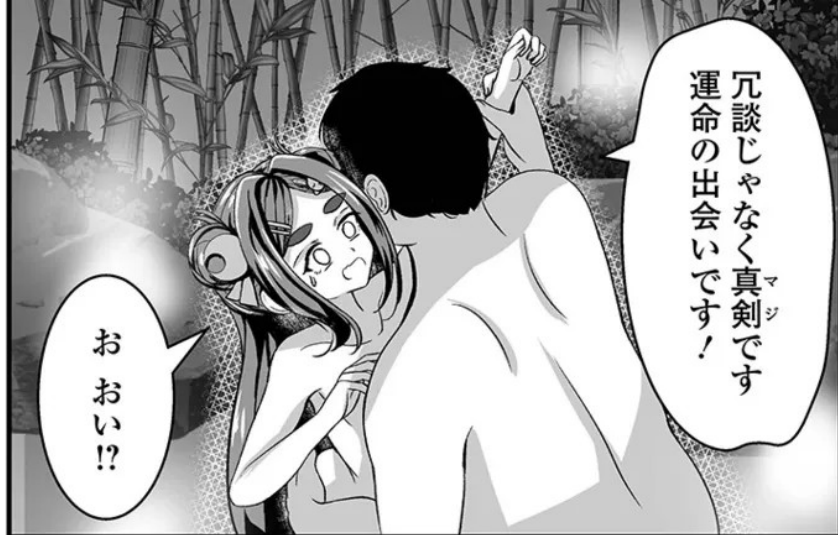
なかたにいさお
中谷勇雄です

一目惚れ
しました

よろしく
お願いします

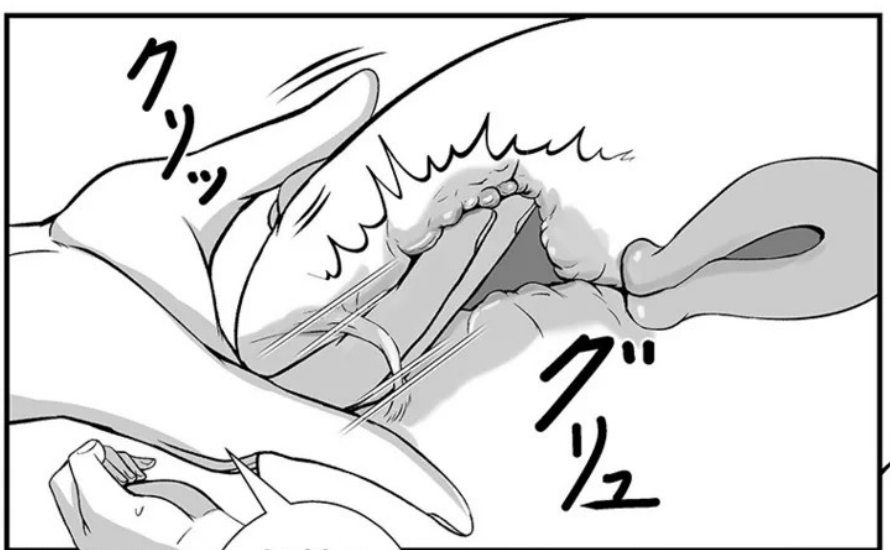
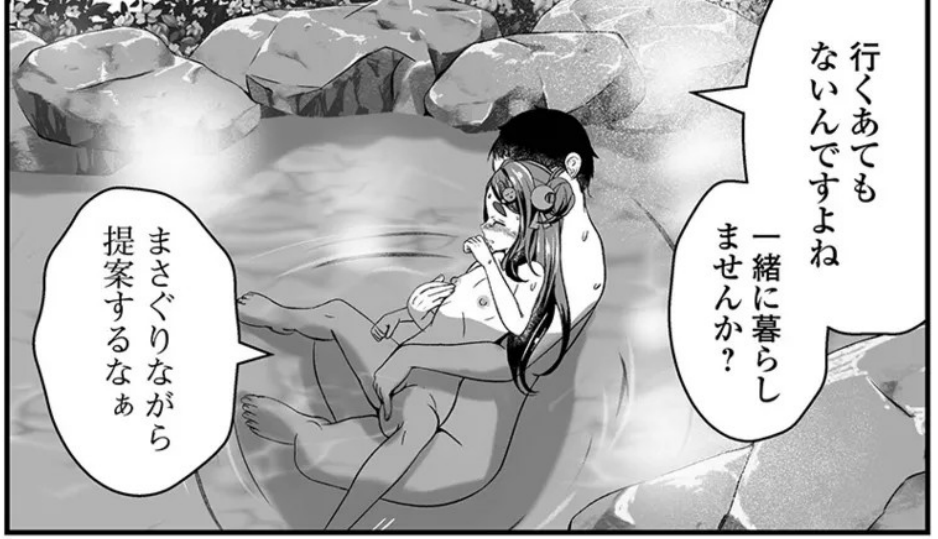
ズツ

こちらも勃起ねば
無作法というもの











熱い…♥
頭の中が真っ白だ

どわ

どわ

腹の奥がうずいておる
ダメなのに…



次は岩に
手をつけて
足を伸ばして
みてください



これで…
良いのか？

あの立派な
マラを見せつけ
られたら…

欲しくなっ
てしまっ
ては
ないか…♥

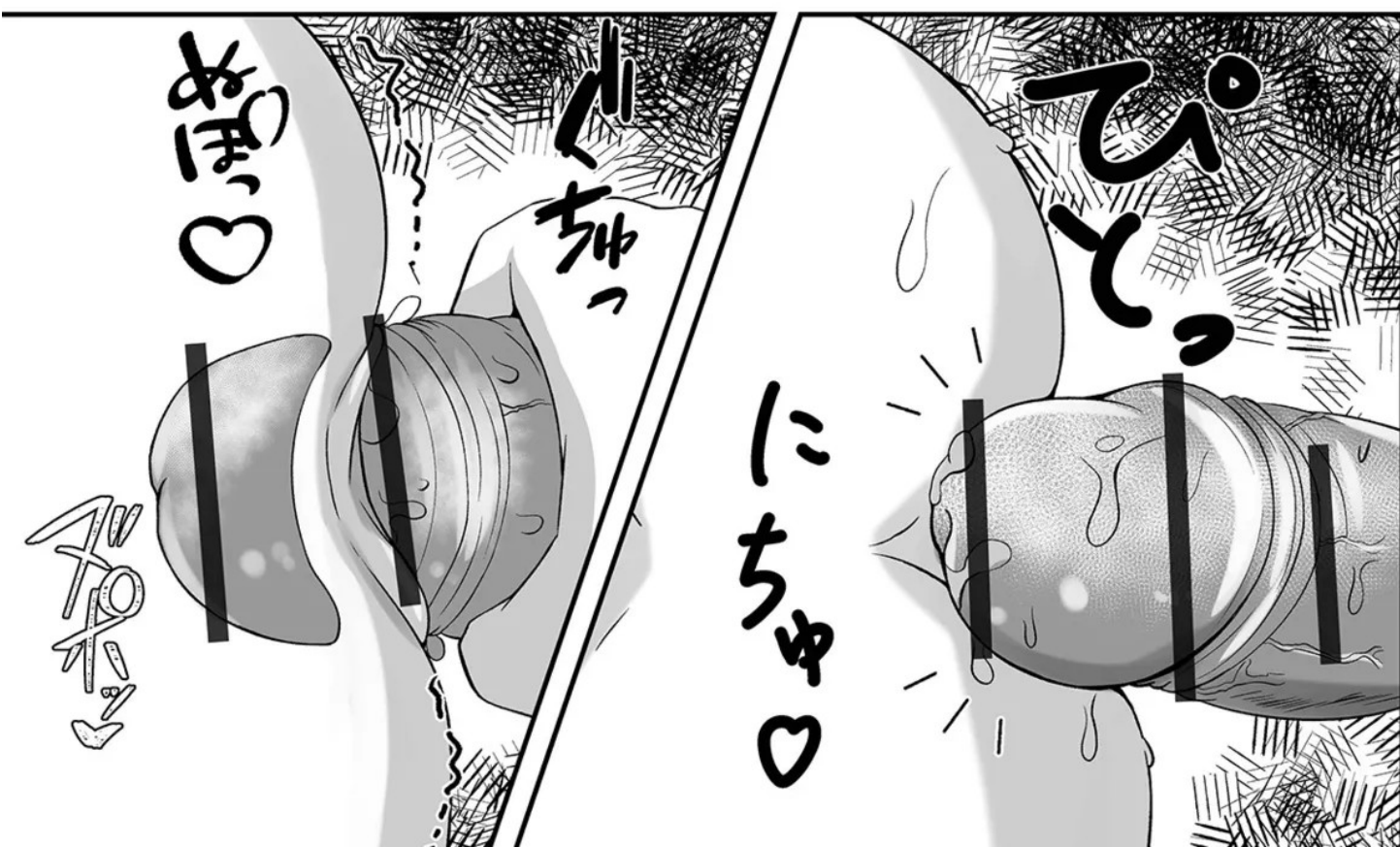
はい！
そのまま力を抜いて
身を任せて下さい

きゅん…♥

きゅん…♥

ビクッ

ビクッ





こんな気持ちいこと
初めてだ…っ
おかしくなりゆう♡

おなこ
これが女子としての
喜びなのかあ♡



太いマラが…子宮を
こじ開けて来るう♡





姫にこのような…♡



ダメっ…♡
奥だめっっ♡

んあゝゝゝ

屈辱うだあ♡



んおあ

ん

んおあ

んおあ

んおあ



お前の着物は
ブカブカだな
まあ良い
帰路の少しの間だ
我慢してやる



ニロッ
悪かったな
小ぶりの胸で



ごっごめん
なさい！

切腹しろ
今すぐ！

おわり



ところで
願いの主は
お前か？

一体何を
願っていった？

あああれですか
貧乳でも良いので

黒髪美少女の
彼女が欲しいって



これだ鬼が祀られてる
古い神社
今も雰囲気あるぜ



じいちゃんの家に
来たのは久しぶりだな

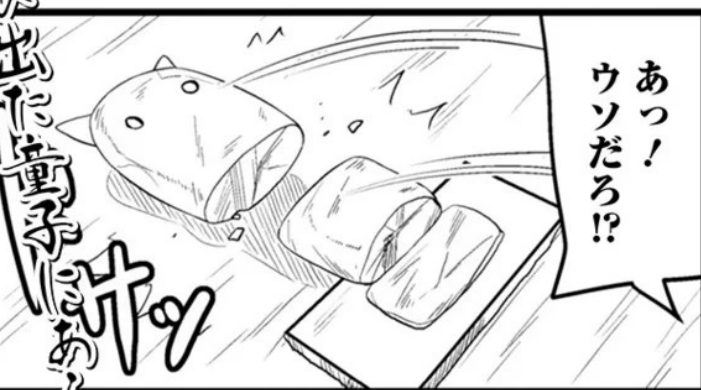
そうだ子供の頃
肝試ししてたあの
場所に行ってみるか



鬼の地蔵から飛び出た童子にあつた要求を……?!



鬼地蔵もだいぶ
古くなって



あつ!
ウソだろ!?



不敬な奴め





わかった！
なんでもするから助けて！

ならばワシの言うことを
聞いてもらう



待ってくれ！
悪かった謝る
だから命だけは！



あれ？



ひい



ではついてこい小僧

化かしてやったのよ
千年を生きる鬼の
ワシじゃ
これくらい造作もない



なんでもと言ったな
小僧

え 小つちやい
さっきのは!?





おばあちゃん
じゃないか！

初めてがこんな
千歳の鬼娘なんて

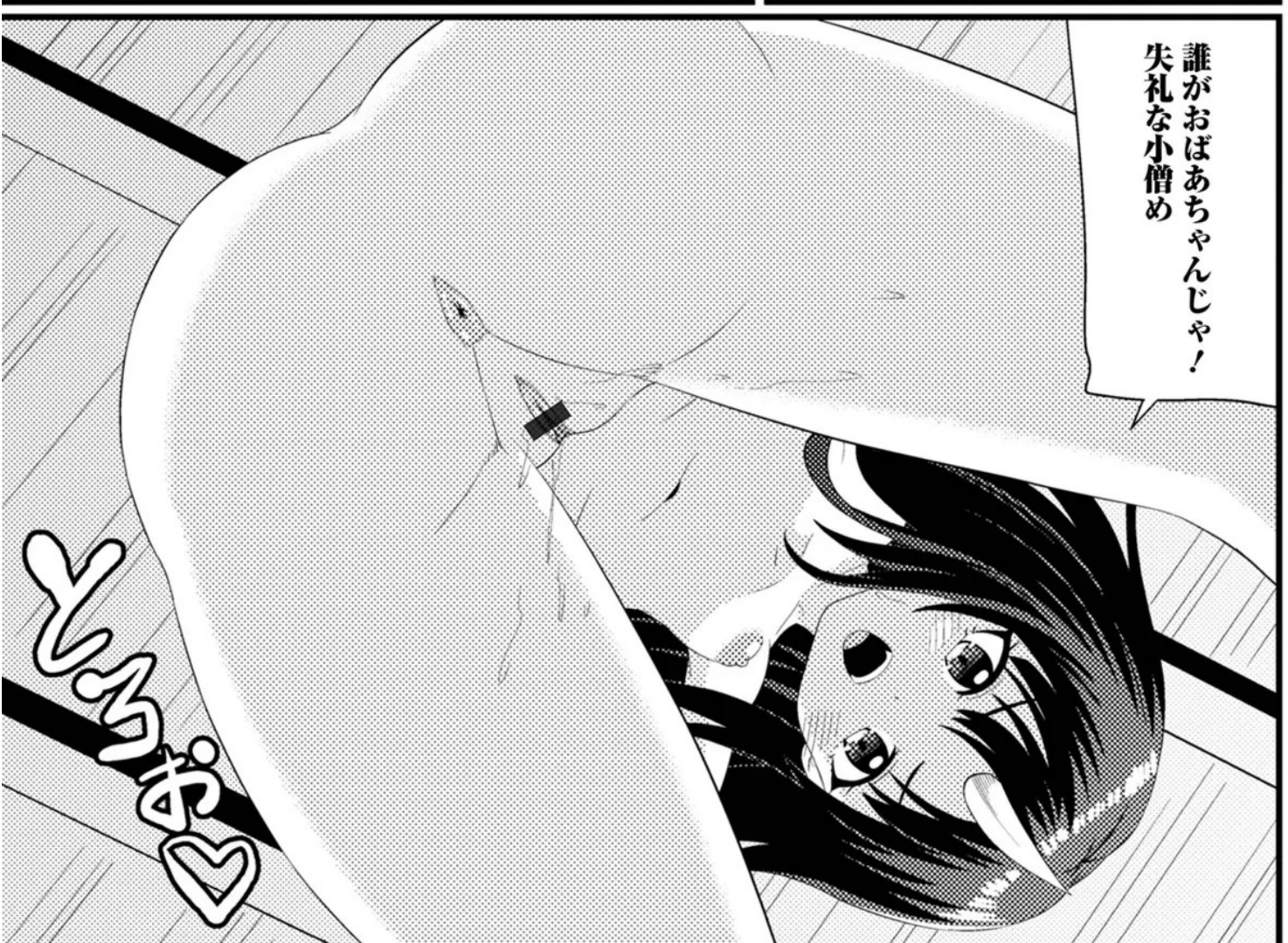


初性交
ドキドキするじゃろ？

アイ
アイ



ぐすん



誰がおばあちゃんじゃ！
失礼な小僧め

とろろ♡



たんと舐めるがよい

は♡



ほれほれ

ビク

ビクッ

ぢゅる

ぢゅる

ぢゅる

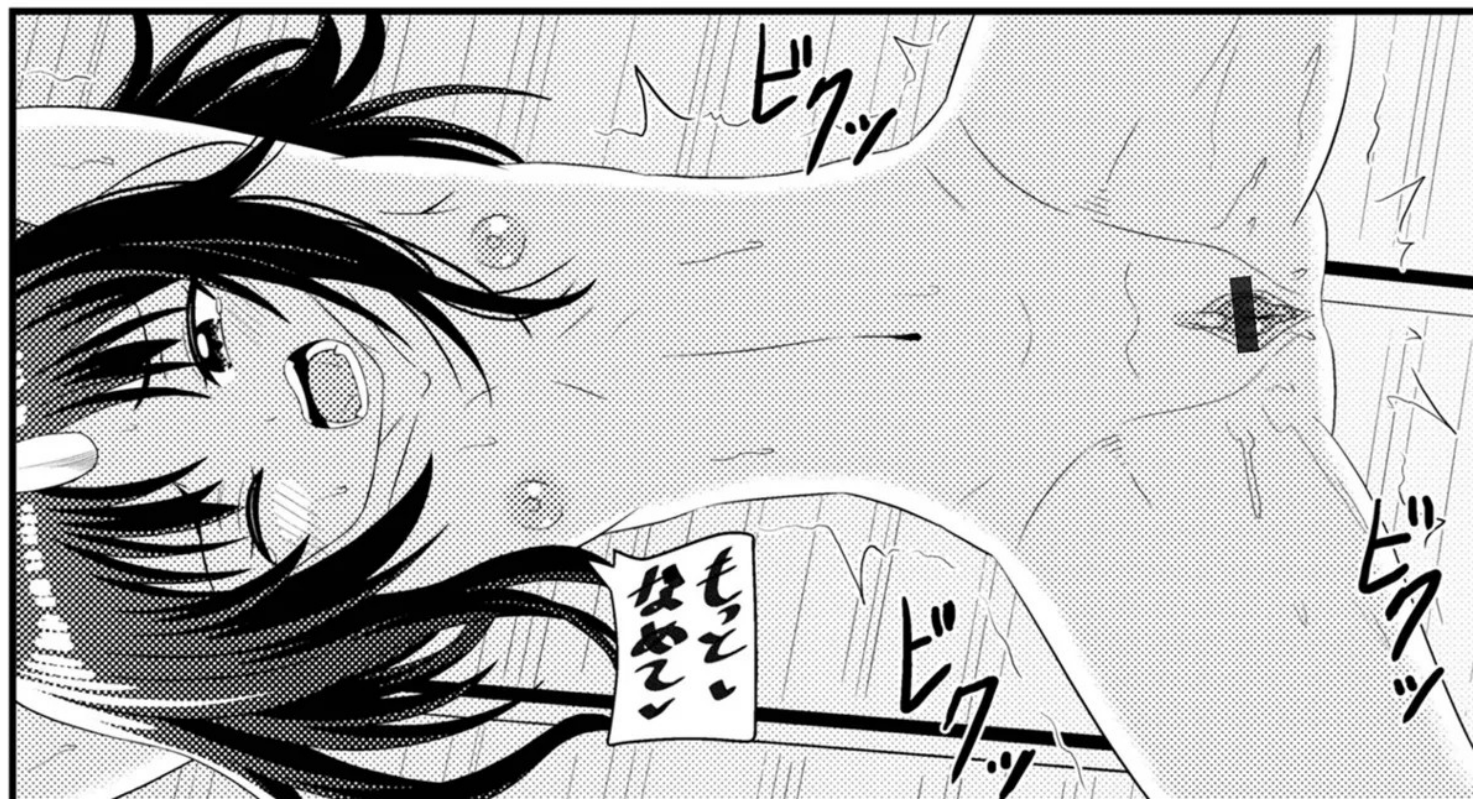
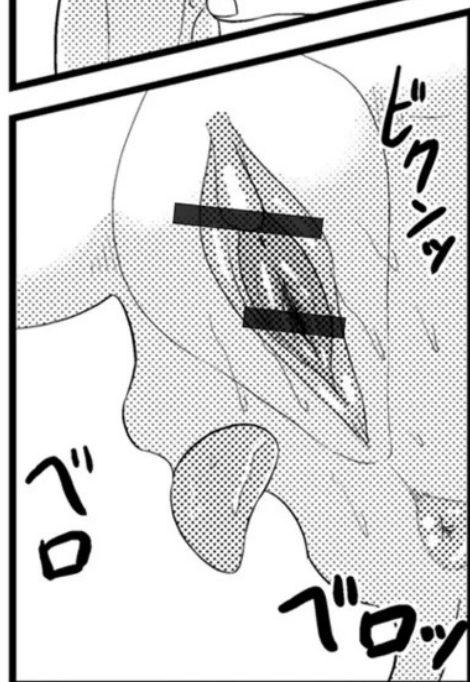


ぱりっ♡

ふふ 固くなった

もっと舐めさせてやるわ
ワシもお前のイチモツを
しゃぶりつくしてやる















小僧 出しすぎじゃ
腹の中が熱いわ

ワシでそんなに
興奮したのかのう？

今日からお前は
ワシ専用の性具じゃ

たっぷり使いこんで
やるからのう♥

もう一言うことを
聞いてもらおうぞ

とろ
…

END